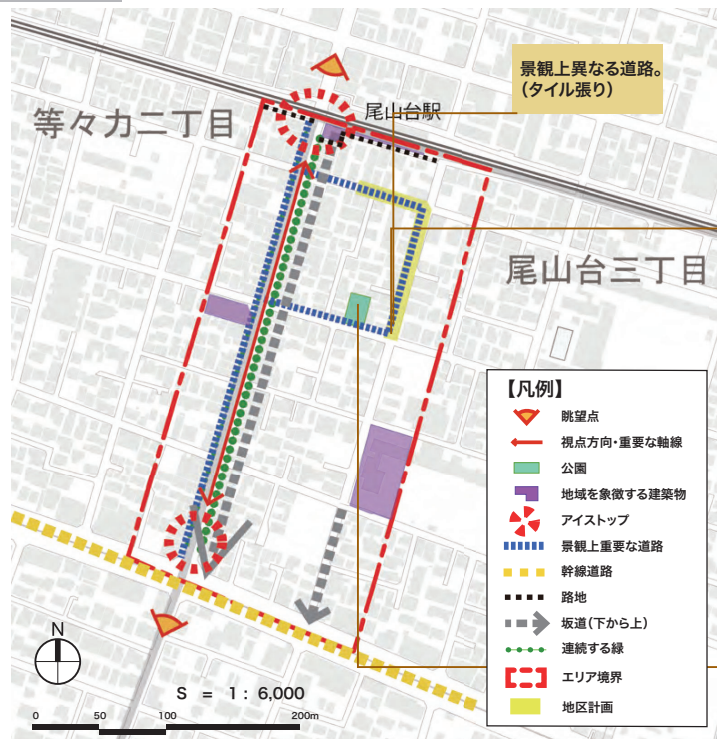


1-1 尾山台商店街エリア

生活の拠点となる商店街と閑静な住宅街が隣接するエリアです。第一種低層住居専用地域と第一種中高層住居専用地域と近隣商業地域の3つの用途地域にまたがっています。ハッピーロード尾山台という商店街があり、夕方16時~18時まで歩行者天国となり、大きな景観的特徴となっています。活発な商店街と街並みの形成のために一階の壁面部分を1mセットバックする地区計画があります。

景観特性



東側街路 街灯のデザインの切り替わり部分



16時から18時のホコ天の様子



尾山台公園

1. 直線が生み出す連続性



尾山台駅と環八を結ぶハッピーロードに面している建物の低層部には店舗・事務所が連続して並んでいる。また、ハッピーロードを1本東側の通りに入ると地区計画が施されており、1階部分のセットバックが行われている。このような連続が賑わいのある商店街を形成している。

2. 商店街に連続する緑



ハッピーロード尾山台には、商店街に対して平行に連続的なみどりが組み込まれている。また、北が低く南が高い高低差により、商店街を眺望するビスタが形成されている。この街路樹が商店街の色彩に統一感を持たせている。

3 南北で異なる道路景観



商店街の東側街路は、用途地域の違いにより南北で景観の変化が見られる。北側の近隣商業地域は地面に商店街と同じタイルが使用されていたり、決まった形の街灯が配置されているなど、複数の統一された資源で街並みが構成されている。一方で、南側の第一種中高層住居専用地域は学校・住宅が建ち並び。

景観形成の目標

緑ある商店街と住環境が共存するまちの生活拠点へ

本エリアは、商店街内のみどりを保全し、商業・住居が共存する街並みを創出する。

景観形成の方針

1. 商店街の賑わいが連続する街並みを維持する

景観形成の考え方

環八と駅をつなぐビュー・コリドーを強固なものにし、商店街としての賑わいを促進させていく。

具体的な方策

- 商店街のタイル張りを残しつつ、連続性という意味で商店街と直行す道路の材質も変えていく。
- 商店街とその周辺にあるコインパーキングをイベントスペースや店舗を増やすなど有効活用する。
- 地区計画で定められているセットバック(1階部分1m以上)を促し、ハッピーロード以外の部分にも連続性を持たせる。



連続した商店街の街並み

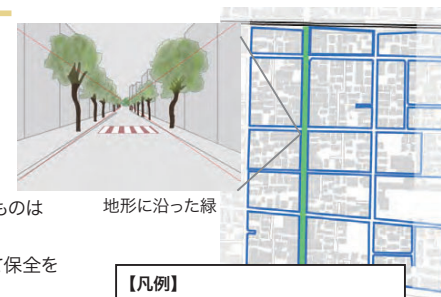
2. 地形に沿った商店街内のみどりを保全する

景観形成の考え方

商店街の高低差によって商店街を眺望できるビスタを保全し、樹木によるみどりで商店街に彩りを持たせる。

具体的な方策

- 火災防止のため、商店街に対して垂直方向の電線をなくす。
- 色彩はみどりと調和した落ち着いたものとし、特に彩度の高いものは避ける。
- 南側の葉が少ない樹木に対して、管理組織を商店街に設置して保全を行う。
- 地区計画の政策の一環とすることで、商店街に連続しているみどりを大切にする。



地形に沿った緑

【凡例】

- 緑を保全する街路
- 建物の彩度を抑えるエリア

3. 東側街路の住環境と商業のメリハリをつける

景観形成の考え方

商業部分の景観に統一感を持たせ、住宅街側との景観の強弱をはっきりとさせる。また、景観の切り替わり部分に連続性を持たせ違和感をなくす。

具体的な方策

- 商業部分は地区計画によりセットバックされているが、制定前に建てられた建物は特にされていないため、建て替えの際に、統一してセットバックさせる。
- 北側の商業地域のセットバック部分の活用として、店舗前に溢れだしを行う。
- 北側の商業部分に使われている街灯を南側の住宅街にも使用し、連続性を持たせる。



東側街路のセットバック部分
黄色: 溢れだしとして活用